

東京都庁舎

TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT OFFICE BUILDINGS

所在地／東京都新宿区西新宿 1-8-1

建築主／東京都

設計者／株式会社丹下健三・都市・建築設計研究所

施工者／大成建設株式会社

清水建設株式会社

株式会社竹中工務店

前田建設工業株式会社

日産建設株式会社

松井建設株式会社

大木建設株式会社

小田急建設株式会社

勝村建設株式会社

東海建設株式会社

東京都建設業協同組合

都中建協同組合

鹿島建設株式会社

株式会社大林組

西松建設株式会社

住友建設株式会社

株式会社巴コーポレーション

石原建設株式会社

白石建設株式会社

新建設株式会社

京王建設株式会社

工新建設株式会社

株式会社熊谷組

戸田建設株式会社

東急建設株式会社

株式会社銭高組

株式会社藤木工務店

日東建設株式会社

株式会社四谷建工

大和建設株式会社

竣工／1991年3月31日

Location／Shinjyuku-ku, Tokyo

Owner／Tokyo

Architect／Kenzo Tange Associates

Contractors／Taisei Corporation

Shimizu Corporation

Takenaka Corporation

Maeda Corporation

Nissan Construction Co., Ltd.

Matsui Construction Co., Ltd.

Ohki Construction Co., Ltd.

Odakyu Construction Co., Ltd.

Katsumura Construction Co., Ltd.

Tokai Construction Co., Ltd.

Tokyo Construction Common Facility Coop.

Co-Operative Of Tochuken

Kajima Corporation

Obayashi Corporation

Nishimatsu Construction Co., Ltd.

Sumitomo Construction Co., Ltd.

Tomoe Corporation

Ishihara Construction Co., Ltd.

Shiraishi Construction Co., Ltd.

Shin Construction Co., Ltd.

Keio Construction Co., Ltd.

Koshin Construction Co., Ltd.

Kumagai-Gumi Co., Ltd.

Toda Corporation

Tokyu Construction Co., Ltd.

The Zenitaka Corporation

Fujiki Komuten Co., Ltd.

Nitto Construction Co., Ltd.

Yozya Kenko Co., Ltd.

Daiwa Construction Co., Ltd.

Completion Date／March, 1991



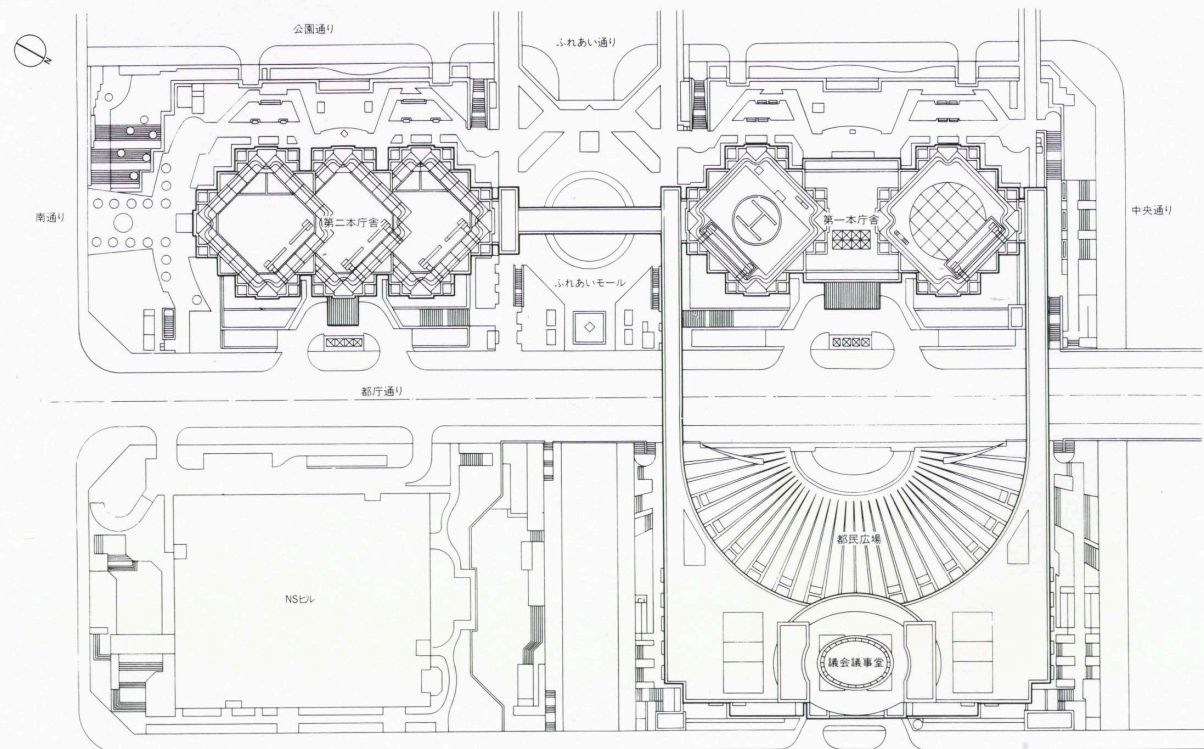
右：第一本庁舎西側見上げ right: West side of the 1st metropolitan office.



航空写真 Aerial view.



議会議事堂前の都民広場を通して第1庁舎と第2庁舎をみる Civic plaza in front of the city council.

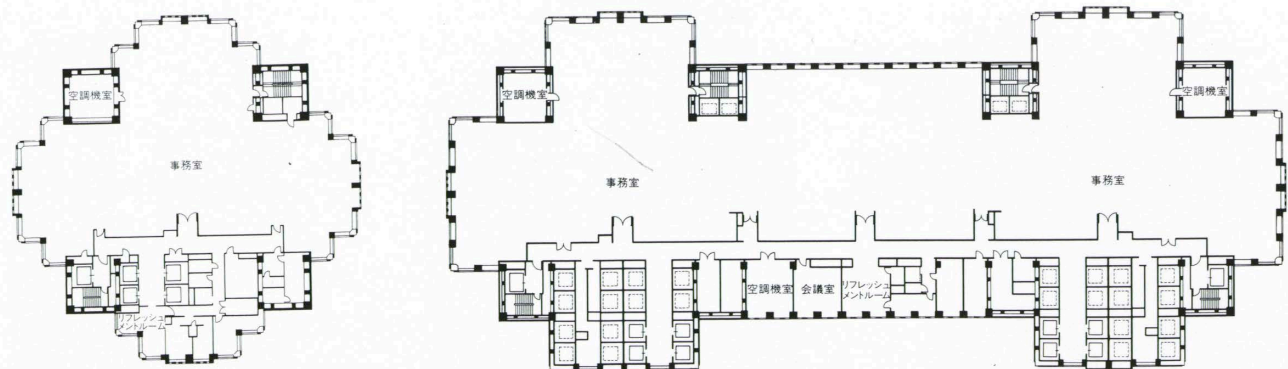


配置図 縮尺 1/2,500

議事堂通り

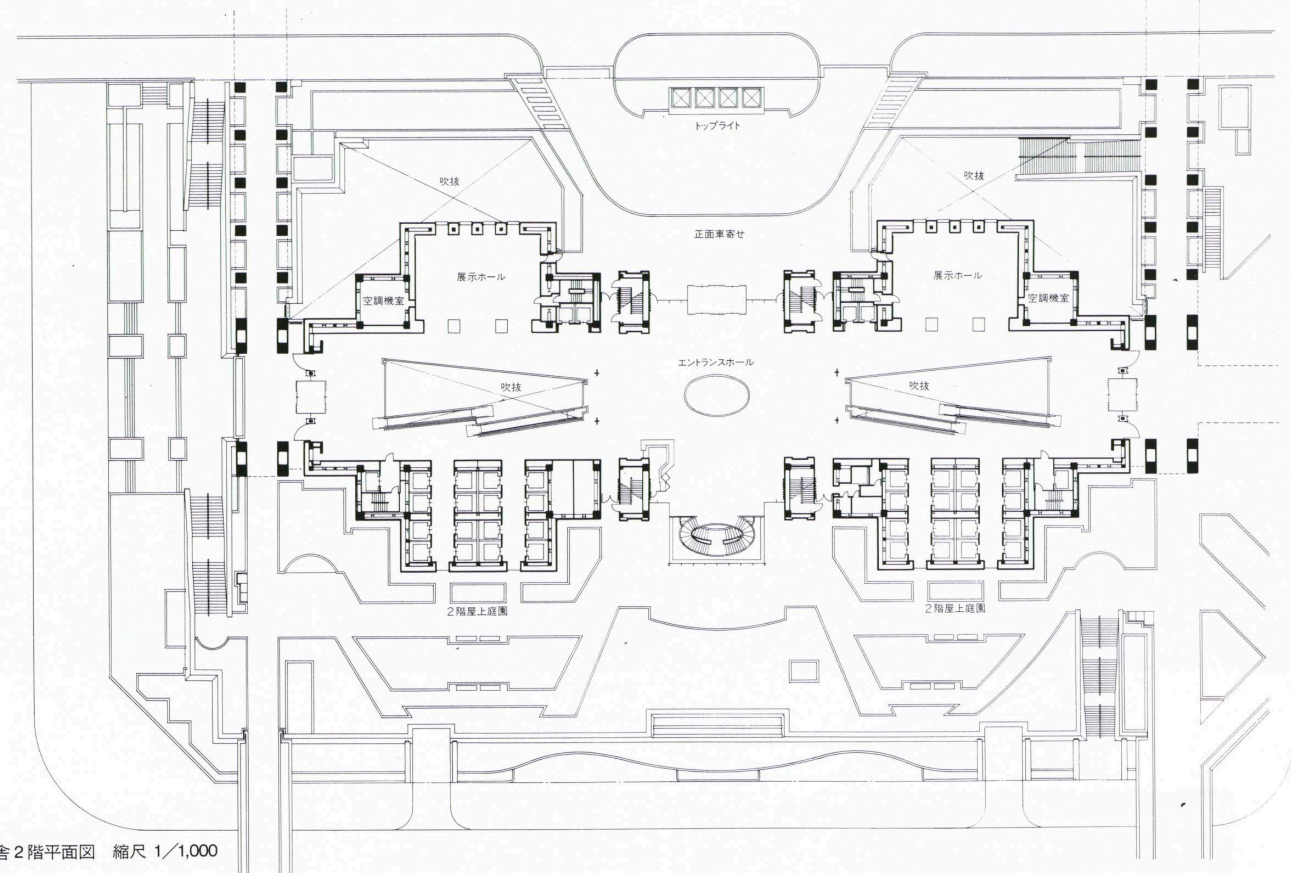


西側全景 General view from the west.



第一本庁舎高層基準階平面図

第一本庁舎基準階平面図



第一本庁舎2階平面図 縮尺 1/1,000

◆第一本庁舎
 建築概要
 敷地面積 14,349㎡
 建築面積 11,041㎡
 延床面積 195,567㎡
 構造 2階以上：鉄骨造 1階以下：鉄骨鉄筋コンクリート造
 規模 地下3階 地上48階
 工期 1988年3月～1991年3月
 仕上げ概要
 外部仕上げ
 外壁/花崗岩打込みPCパネル 一部電波吸収体打込み
 内部仕上げ
 [エントランスホール] 床/花崗岩水磨き 一部大理石水磨きパターン貼 壁/花崗岩水磨き 一部水磨き 間接照明部：ビニルクロス 天井/岩綿吸音板 間接照明部：ビニルクロス 一部スチールパネ

ル焼付塗装 [大会議場] 床/タイルカーペット
 壁/スチール角パイプ吸音壁 一部大理石 天井/岩綿吸音板
 設備概要
 空調 方式/インテリア：各階ユニット単一ダクトとVAV方式 ペリメータ：ターミナル空調機とVAV方式 熱源/地域冷暖房センターから冷水・蒸気を受給
 衛生 給水/上水と雑用水(中水)の2系統 雨水を処理して便所洗浄水に利用 上水槽180㎡ 中水槽340㎡ 給湯/地域冷暖房センターからの蒸気を熱源とする中央給湯および各階電気湯沸器
 電気 特高受変電/66kV 2回線受電SF6ガス絶縁変電所 主変圧器：SF6ガス絶縁型20,000kVA×2台 高圧変電/電気室31カ所 自家用発電/ガスタービン機関(灯油)2,500kVA×2台 無停電電源/中央コンピュータ用 電力監視/制御機能分散 管理機能集中形システム

防災 消火/スプリンクラー 泡消火 ハロン消火 設備他
 ◆第二本庁舎
 建築概要
 敷地面積 14,030㎡
 建築面積 9,785㎡
 延床面積 139,949㎡
 構造 2階以上：鉄骨造 1階以下：鉄骨鉄筋コンクリート造
 規模 地下3階 地上34階
 工期 1988年3月～1991年3月
 仕上げ概要
 外部仕上げ
 外壁/花崗岩打込みPCパネル 一部電波吸収体打込み
 内部仕上げ
 [事務室] 床/タイルカーペット 壁/スチールパネル焼付塗装 天井/岩綿吸音板



第一本庁舎エントランスホール Entrance hall of the 1st metropolitan office.



第一本庁舎大会議場 Large sized conference hall of the 1st metropolitan office.

選評

REVIEW

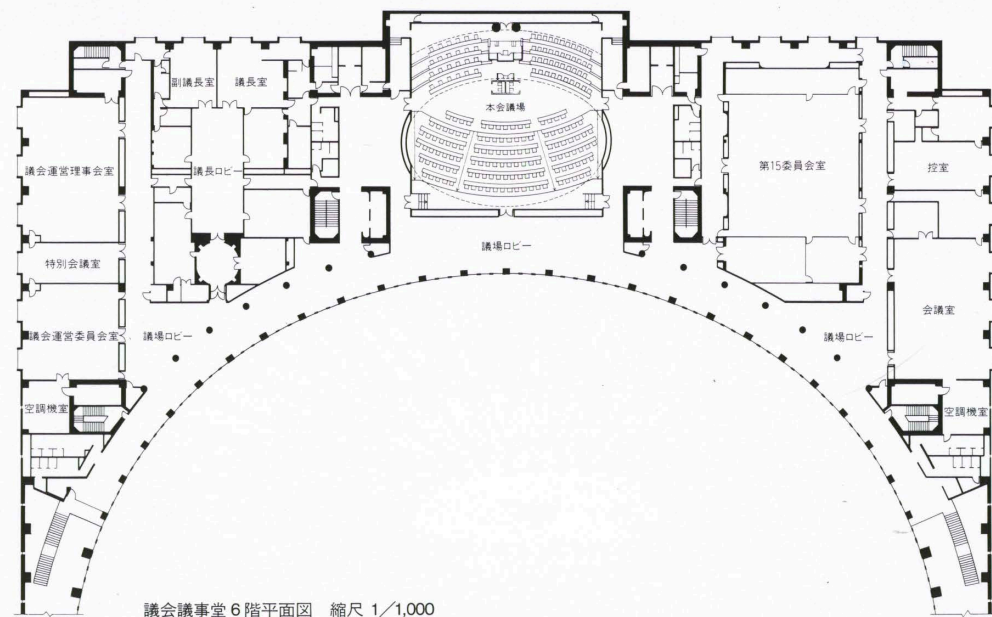
東 孝光 TAKAMITSU AZUMA

市川 宏 HIROSHI ICHIKAWA

舟橋 巖 IWAO FUNAHASHI



議会議事堂本会議場 Main conference hall of the city council building.



議会議事堂 6階平面図 縮尺 1/1,000

◆議会議事堂

建築概要

敷地面積 14,560㎡

建築面積 6,659㎡

延床面積 44,986㎡

構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 一部梁鉄骨造

規模 地下1階 地上7階

工期 1988年7月～1991年3月

仕上げ概要

内部仕上げ

[本会議場] 床/カーペット 壁/大理石 スチールパネル アルミパイプ吸音壁

設備概要

空調 方式/委員会室等:ターミナル空調機と外気空調機の組合せ方式 議場:単一ダクト空調方式と電気床暖房の組合せ方式 熱源/地域冷暖房センターから冷水・蒸気を受給

衛生 給水/上水と雑用水(中水)の2系統 雨水

を処理(第一本庁舎)し便所の洗浄水に利用 上水槽50㎡ 中水槽40㎡ 給湯/地域冷暖房センターから蒸気を熱源とする中央給湯+各階電気湯沸器
電気 高圧変電/電気室1カ所 自家用発電/ガスタービン機関(灯油)1,000kVA×2台 無停電電源/コンピュータ用 電力監視/制御機能分散 管理機能集中形システム
防災 消火/スプリンクラー 泡消火 ハロン消火 設備他

「東京都新庁舎」は、昭和61年4月に指名設計競技により丹下健三・都市建築設計研究所案が選ばれ、実施設計完了の後、昭和63年3月に着工、以後約3年の短時日を経て平成3年3月に竣工したものである。

この新都庁舎は、新宿副都心地区の三つのブロックにまたがって建てられているが、第一、第二庁舎及び都議会議事堂の諸機能を有機的に結び付け、それらを一つの複合的な建築群の構成にまとめ上げるとともに、市民広場や展示ホール、都民ホールなどの公共空間を内外につくり出し、また新宿副都心地区の整備構想の一環として、周辺地区や新宿中央公園とも有効に連続させるなど、所謂スーパーブロック開発としての課題を解決して完成させたものである。

まず、大きな半円形の市民広場を中心にして低層の議事堂棟と高層の庁舎棟を空中廊下で結び付ける構成は、密度の濃い、緊張感のある都市空間をもたらしており、また頂部を二つの塔にしてその垂直性を強調した高層棟のシルエットの遠望も、強い象徴性をもつ表現のスカイラインや都市景観を出現させている。また近景では、濃淡の御影石打ち込みPCパネルによる外装が独特の絵画的効果を創り出し、内外空間の各所には彫刻やレリーフなどのアートワークが配置され、都民にも親しみや楽しさを感じさせる配慮をしている。

内部の施設計画では、複雑な都庁の各部署の執務空間のつながりをよく整理し、高層階の執務空間としての安全性、快適性を配慮したオフィス計画にまとめているばかりでなく、将来の一層のOA化や、都の情報センターや防災センターとしての中核的機能にもよく応え、最新のエネルギーコントロール技術を生かした設備計画とともに、インテリジェントビルとしても第一級の複合建築群になっている。また、これらを支える構造計画にもスーパーストラクチャーによる地上鉄骨造、地下鉄骨鉄筋コンクリート造としての独自の工夫が見られる。

これだけの巨大な都市建築群を、比較的短い工期の中で、安全に、かつ複数のJVによる施工体制にも拘らず、共通した高品質と高い施工精度を達成することが出来たのは、建築JV各社の工夫と努力はもちろんであるが、建築主、設計者、施工者の一体となった信頼と協力関係無しには成立しなかったことと思われる。

以上のように、この建築群は企画、設計、施工技術を総合して、現時点での日本社会の総力の限界一杯にまで迫ったものであり、20世紀日本の建築界の力を示す記念碑的な仕事のひとつとして高く評価する。

The design of Kenzo Tange Associates, was selected in a designated competition in April, 1986. After the completion of working plans, construction began in March, 1988, and ended in March 1991—only three years later.

A complex of three organically connected buildings—first and second metropolitan office buildings and the city council building—straddles three blocks in the Shinjuku urban subcenter and incorporates such other public facilities as a civic plaza and exhibition hall. This super-block development undertaking is closely connected with the surrounding district and with Shinjuku Central Park.

The city-council building faces the semicircular civic plaza. Connecting this building with the office tower by means of an aerial passageways generates tense, dense urban spaces. Dividing the upper reaches of the first office building into twin towers emphasizes vertically and produces a major symbolic silhouette in the skyline.

Exterior cladding of tonally graded granite set in precast-concrete panels creates pictorial effects. Sculpture and paintings strategically placed both inside and outside the building help inspire pleasure both delight and a sense of familiarity.

Interior planning carefully connects office spaces for a complex of numerous metropolitan functions and ensures comfort and safety in the upper reaches of the towers. In addition, it takes into consideration further increases in office automation and the need to serve as a nucleus for metropolitan information and disaster-prevention centers. These factors in combination with the latest energy control technology makes these buildings examples of the finest in so-called intelligent architecture. Of course, this is made possible by a distinctive superstructure employing steel frame above ground and a combination of steel-frame and reinforced concrete underground.

Although it involved complicated joint ventures, the construction of this vast complex was safely completed in a relatively brief period. Ingenuity and effort on the part of all participants in the joint ventures were important, but the achievement would have been impossible without trust and cooperation among the members of the unified team composed of client, designer, and contractors. Representing the ultimate possibilities of contemporary society in Japan, the Tokyo Metropolitan Government Offices are a worthy monument to twentieth-century Japanese architecture.